

競技注意事項

- 2026年度日本陸上競技連盟規則にしたがう。
※一度の不正スタートでも、責任を有する競技者は失格となる。
※小学生の部トラック競技のフライングは旧ルールとする。
(同じ者が2回不正スタートした場合は失格)
- 招集について
 - 招集場所
＜高校一般・中学＞
各競技場所及びスタート付近（リレー競技は各走者スタート位置）とする。
各競技に出場する者は各場所で、審判員の点呼を受けること。
競技場内へはGATE1またはGATE4から入場すること。
トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。
但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。
 - ＜小学生＞
トラック競技：GATE4で招集を行い、スタート地点まで誘導を行う。
フィールド競技（ジャベリックボール投）：GATE2で招集を行い、競技場所まで誘導を行う。
 - 電子機器類の競技場への持込を禁止する（携帯電話、ミュージックプレイヤー等）。
 - 招集時間は裏表紙の競技時間表のとおりとする。

リレーのオーダー用紙は招集完了の1時間前までにTIC（受付）へ提出すること。
次のラウンドへ進出した時は、選手に変更が無くとも同様に提出すること。
- バーの上げ方
 - 走高跳（練習）（開始）

（一高男子）	1m50	1m55	1m60	・・・	1m75	1m80	1m83	（以降3cmずつ）
（一高女子）	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	（以降3cmずつ）
（中学男子）	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	（以降3cmずつ）
（中学女子）	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	（以降3cmずつ）
 - 棒高跳（練習）（開始）

（中学男子）	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m10	3m20	（以降10cmずつ）
（中学女子）	1m60	1m70	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	（以降10cmずつ）
- リレーカーニバルのリレー競技予選は全てタイムレースとし、記録の上位8チームで決勝を行う。小学生トラック競技はタイムレース決勝とする。
- ジャベリックボール投の1投目は全員計測するが、その後の試技は計測ラインを設ける。
- スパイクの長さは、9mmを超えてはならない。また走高跳およびやり投の場合は、12mmを超えてはならない。
- 競技用シューズの靴底の厚さは、日本陸連競技規則（TR5）の通りとする。
小学生については、2020年度のシューズ規定に関する改定ルールの適用外とする。
- 1500m以上の種目は、招集時に腰ナンバーカードを受け取り、右腰斜め後方に着用すること。レース終了後係員に返却すること。
- 選手はゴール後、審判員の指示に従ってGATE1から退場すること。
- 表彰（リレーカーニバル）
優勝チームには盾を授与する。1位～8位までの入賞者、チームには賞状を授与する。
表彰は行いません。結果通告後に受付で表彰状、メダルを受け取ること。

11. 本競技会における傷病については、応急処置のみで以降の責任を負わない。
12. 貴重品の保管については各自で十分に注意すること。
13. 第二競技場について
 - ・ベンチを設置することを禁止する。
 - ・ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
 - ・1・2レーンは、長距離専用、3～6レーンは、流し専用、7・8レーンはハードル専用とする。
 - ・スタート練習は110mHのスタートラインを使用すること。
 - ・リレーのバトンパス練習は衝突回避の為、バックストレートを使用すること。
 - ・走幅跳、走高跳の練習は所定のピットで行うこと。
 - ・投てきの練習は禁止する。
 - ・走路及びピットに立ち止まるとの指導を禁止する。
 - ・走路は左回りとし、逆走は禁止する。
 - ・走路の横断は十分に注意すること。
 - ・投てき場の使用は禁止する。
 - ・用具は使用する者で準備、片付けること。
 - ・多目的広場は駐車場になるのでウォーミングアップ等に使用しないこと。
 - ・中学女子三段跳は第二競技場のピットで競技を行う。
14. 競技場、スタンド席とも汚さないように気をつけ、ゴミは各チームで責任をもって持ち帰ること。メイン競技場のコンコース、スタンドへのベンチ設置を認めるが、ベンチの設置は当日のみとする。1日目終了時、荷物を置いてもかまわないが、該当チームで責任を負うこと。また、2日目は小学生種目・マスターズ種目が実施されるので、譲り合って使用すること。
15. 一般高校の競技結果は、掲示板に掲示しないのでHPの結果速報で確認すること。

